



## 日産、ホンダの統合におけるモデルの考察

令和7年1月2日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

規格の標準化は、大幅なコストダウンを行う。また流通と効率における統合はコストの大幅な削減を与えるものである。

すべての生産体制における優れたシステムの選択と導入は、新しい生産性におけるコストダウンを得るものである。時代先端における自動化における人員削減は余剰コストを捻出する。

海外市場における固定販売網の統合と標準化は、より優れた固定需要を構築できるものである。

またすべての無駄の削減において、企業システムを統合することは余剰人員の削減とともに強い企業体力を与える。

企業製品が世界において最も優れた品質や製品を与えることはその協力において、世界戦略車の製造や製品の標準化と統合を経て、固定需要の構築や世界におけるより優れたプレゼンスの構築を与える。

また生産環境のグローバル市場における用語の利点の構築をその協力において実現することや、下請けにおける新しい基準と標準化を得ることなどにおいても大きなコストを捻出できる。

経営チームにおけるコンセンサスの形成はスリム化と効率化における企業の強さを再度構築し、グローバル企業としての自己構築を観戦させなくてはならない。

これらがさらに時代先端性における企業構築を得、グローバル市場における競争へ参加することは、企業がすべての面で自己考査と新しい優位性の構築を求められるのである。

これらが企業統合における利点であり、可能性なのである。グローバル市場の統合において企業が自己単独でこれらを行うことに対して統合を経て、新しい可能性を模索する時、新しい可能性を有することは存在するのである。



これらはまた、経営チームがその決断と行動を迅速にお行い、正しい現実の認識とともに企業改革を断行し、新しい企業としてのスタート得ることは、決断という現実においてそのすべての問題を洗い出し、解決と新しい現実への移行を求められるのである。

このリーダーシップが未来を与えるなら、既存現実に惑溺し、未来へ進めないことは、泥舟に乗ることと同じなのである。

これら計4英チームにおける高い認識と行動と決断は優柔不断において既存現実には素質することを相違する。

これは企業経営が、決断において未来を唯一有することは必ず存在するのである。これらは目標、すなわちグローバル市場におけるオンリーワン企業としての自己、そして計画と行動において、それら新しい未来の実現を実現できるからなのである。